

鹿ノ台川柳教室 一月度句会

一月二十日(月) 鹿ノ台西集会所

席題「温度」

澤山よう子選

エアコンをつけりや頭がぼやけます 春代  
初想いほっこりだけど未だのこり よし尚  
相撲取勝てば喜び温度上げ 宏樹  
適温が家族で違うフロでもめ ミノル  
ノド元過ぎて受験戦争なんのこと 千楽  
わが国は温暖化では不評買う 哲子  
温度差を金婚式でやっと知る 幸男  
人間の本気を試す温暖化 アキラ  
風花をまとい早足通学路 登美  
ハイタツチ子供の微熱気づく母 乃り子  
温度差があってもやはり夫婦です 英二  
温度差が敏感になる冬仕舞 えいじ  
まだわかる四季のうつろい肌に凍む 充  
説教も温いひとこと添えた父 広子  
⑥常温で育てた子だが親思い 良一  
軸温度差がどんどんひらく倦怠期 よう子

宿題「パン」(連記)

原 広子選

好きなパンを焼く朝が待ち遠しい えいじ  
パン食はビーフシチューでワイン飲む 宏樹  
並び買ったかが食パンやみつきに 登美  
米粉パン手作りさくり舌の上 春代  
つぶあんでずっしり重いパンが好き 哲子  
パンがない ならばケーキで凌ぎましょ 千楽  
クロワッサン夢に出てくる三が日 英二  
安売りのパンと日付を思案する 充  
トーストの匂いで起こす妻の技 アキラ  
ふつくとやきもちを焼くメロンパン ちさと  
四枚を八枚切りに変える歳 幸男  
国敗れ戦勝国のパンに慣れ ミノル  
初デート手製サンドでメール待つ よし尚  
増税に小さくなったパンの耳 よう子  
パンよりもお目当てレジの片えくぼ 義雄  
へこんだらふくらし粉など入れてみる 正清  
乾パンを溜めてるだけの危機管理 良一  
⑦ワンチームパンも笑顔もシエアしてる 乃り子  
軸パンのみで生きてみたいと思う日も 広子

宿題「休む」(互選)

②年末のそうじ疲れて寝正月 登美  
停年後年中休暇でつかれ果て 登美  
A Tで骨休めより脳休め よし尚  
休みたくないかお日様お月様 良一  
U S Jから風邪で休むとメールする 英二  
③願い事して神さまの定休日 ちさと  
ネイルアート本日主婦を休みます よう子  
Uターン新幹線の大欠伸 アキラ  
二人して藪入りを待つ小正月 えいじ  
④休業と小さく書いたウラを読む ミノル  
コンビニも少し休めば風読める 哲子  
病院が休みの時は行き場ない えいじ  
育休に素直になれぬ昭和の子 英二  
どっこいしょもう三度目の一休み 義雄  
コンビニも休み元且らしくなる 義雄  
⑤横綱の得意休場揃い踏み 千楽  
休止符をうって大きな生あくび ちさと  
贅沢です毎日休み飽きました 乃り子  
⑦傷ついた羽を休める保健室 良一  
大相撲ボス不在でも沸く土俵 哲子  
⑧休めない人が支えるお正月 アキラ  
⑨休めない人が支えるお正月 アキラ

宿題自由吟(共選)

山神春代選

脱走し法を守れとお説教 千楽  
野に咲いてやつと自分を取り戻す 良一  
じいちゃんのボケとユーモア悩ましい 広子  
天上で国を憂うか風見鶏 登美  
ミサイルと核弾頭というおもちゃ 正清  
満願に庄助さんの会津行き 充  
昭和の子お下がりの服一張羅 えいじ  
生き恥をこつそり川でおせんたく ちさと  
辛い過去あるから今日が笑えます 良一  
デパ地下の試食めぐりのダイエット 正清  
舟盛りに沸く喚声と迷い箸 義雄  
⑩秀タコ上げに指先で聞く風の音 登美  
軸帰り際いつも運転気いつけや 春代

宿題自由吟(共選)

笹倉良一選

コアラの死見せてネオンの海銀座 よし尚  
ひとつがい寒さ楽しむ冬の池 えいじ  
友の通夜ひとり減ったと指を折る 英二

タコ上げに指先で聞く風の音  
ミサイルと核弾頭というおもちゃ  
人生の機微百人一首色褪せぬ  
舟盛りに沸く喚声と迷い箸  
石ころと言われあしたを生きていく  
駅ピアノ人は誰でもミュージシャン  
失って無くしてならぬ友と知る  
⑨生きのびる答を探す明日の地図  
軸辛い過去あるから今日が笑えます

登美  
正清  
アキラ  
義雄  
ちさと  
千楽  
義雄  
よう子  
良一

二〇一九 年間秀句  
やんわりと痛いところく京言葉  
いたずらを隠しきれない靴の泥  
節約も浪費もつらい光熱費  
末席の鋭い問いが的をつく

広子  
義雄  
充  
よう子

鹿ノ台川柳教室会員の新聞投句 掲載された句  
(十二月十六日～一月二十日各紙掲載分)

朝日新聞 田中新一選  
一月十五日 題「味わう」  
登りつめた後に味わう虚脱感

よう子

毎日新聞 山田順啓選  
一月十六日 題「合格」  
不合格乗り越え人は深み増す

アキラ

読売新聞 阪本高士選  
十二月二十二日 題「謎」  
謎のまま邪馬台国のイリュージョン  
一月十九日 題「イチゴ」  
100個目を達成感のイチゴ狩り

正清  
正清

奈良新聞 居谷真理子選  
十二月十八日 題「理由」  
お金だと言えばみんなが納得し  
理由などどうでもいいよ仲直り  
シュレッダーしました調査不能です  
一月八日 題「点」

英二  
春代  
アキラ

八十点を喜ぶ子ども誉めてやり  
嘘ばかり汚点残して咲く桜  
紅一点美し過ぎて仲間割れ

春代  
幸男  
アキラ

一月十五日 題「学ぶ」  
介護を機に許す心を学びとる  
記憶力ばつぐんなのに習いべた  
麻雀で人生すべて学んだと

よう子  
正清  
英二

奈良新聞 自由吟  
十二月十九日 米田恭昌選

ぼろぼろと濡れ手の欲がこぼれ出す  
鍵っ子に耐えて鍛えた自立心  
重かった軽いつもりの母背負う  
やっところさ忿怒の河をわたりきる

よう子  
アキラ  
幸男  
正清

一月九日 大楠紀子選  
せせらぎに五欲の垢を流してる  
接続詞ひとつに心澄んでくる  
目覚ましに猶予乞うてる寒い朝  
デパートの物産店で旅を行く

正清  
よう子  
アキラ  
幸男

一月十六日 大楠紀子選  
また一つ余命減らして除夜の鐘  
主婦の座を譲って自分取り戻す  
碑に刻むみだらな過去をふいている  
新宿は季節外れの花が咲く

アキラ  
よう子  
正清  
幸男

\* 橘正清、前田幸男、勝部乃り子、山神春代、  
各氏は短歌俳句でも活躍

次回 二月十七日、十二時十五分開場、西集会所  
宿題は「風呂」、「ふるえる」、「自由吟」各二句

\* 席題 義雄選 一人一句提出  
\* 「風呂」(連記) えいじ選  
\* 「ふるえる」(互選)  
\* 「自由吟」(共選) よし尚選 哲子選  
\* 席題発表十二時三十分 出句×十三時

自治連合会公認クラブ。生駒番傘川柳会のご指導  
を得て、日頃の生活を、喜怒哀楽を、五七五に  
句会のご見学、ご入会大歓迎、会費一ヵ月百円

問合せ 原 広子(79・0061)  
野々村詮(090・6961・1292)